

氏名	古 川 雅 人
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	博 乙 第 1907 号
学 位 授 与 の 日 付	昭 和 63 年 6 月 30 日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学 位 論 文 題 目	男子不妊症における内分泌学的研究 —Partial adrenocortical hydroxylase deficiencyについて—
論 文 審 査 委 員	教授 関場 香 教授 太田善介 教授 産賀敏彦

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

副腎性アンドロゲンの高値を伴うクロミフェン抵抗性の女子不妊症の中に partial adrenocortical hydroxy-lase deficiency syndrome が存在するが、Ross が提唱した如く、特発性男子不妊症の中にも同様な病態が存在するか否かについて検討した。対象は乏精子症患者130例で内訳は特発性不妊124例、左精索静脈瘤 6 例であり、精子濃度、運動率により各々 3 群に分類した。

dehydroepiandrosterone sulfate (DHA-S) の上昇した例は130例中43例 (37.0%) に認められたが各 3 群間に有意の差を認めなかった。また、gonadotropin は精子濃度 1000 万/ml未満で高値の傾向にあったものの、DHA-S との相関性は見られず、低値例はわずかであった。さらに DHA-S と dehydroepiandrosterone (DHA), 17 α -hydroxy-progesterone との間でも有意の相関は認められなかった。Ross が述べた DHA-S 上昇, testosterone(T) 低値のものは 130 例中13例に認められ、この内 7 例に対し low dose predonine therapy を 3 ~ 10 ヶ月間施行したところ、DHA-S が全例改善したにもかかわらず、T および精液所見は、ほとんど改善しなかった。さらに精巣内 DHA, 5 α -dihydrotestosterone(DHT), T と精細管内 DHT, T を検討したが、血中 DHA-S が 2500 ng/ml 以上と未満で有意の差は認められず、血中副腎性アンドロゲン高値に起因した視床下部における gonadotropin-releasing hormone の抑制および精巣内 androgen receptor の不活化はないものとする。以上より、partial adrenocortical hydroxylase deficiency syndrome の存在は男子では漠然としたもので臨床的意義は希薄であると思われた。

論文審査の結果の要旨

本研究は男子不妊症における Partial adrenocortical hydroxylase deficiency syndrome の存在の有無について研究したものであるが、副腎性アンドロゲン増加は視床下部，下垂体，精巣系に対し影響を及ぼさず，また精子形成にも関与しないことを突き止め，女性不妊症の場合と異り，男子では本 syndrome が非常に稀であることを確認した価値ある業績と認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。